

子どもの自立「子育て」を支える教育の推進

生活習慣の向上

PTA とともに推進する
平成26年度重点項目 1,2,3,5,8,9,11,12
新[家族の約束 十二か条]

- 1 家庭学習の習慣が身につくよう努めましょう。
- 2 「早ね・早おき・朝ごはん、家族そろって晩ごはん」に取り組みましょう。
- 3 読書に親しみましょう。
- 4 子どもの権利について、話し合ってみましょう。
- 5 園・学校行事、地域行事やPTA行事に積極的に参加して、つながりを増やしましょう。
- 6 子どもが発する危険信号に早く気づきましょう。
- 7 対応が困難なことはすばやく相談機関に連絡しましょう。
- 8 「NOテレビ NOゲーム」の日をつくり、家族団らんに努めましょう。
- 9 子どもが個食や孤食にならないようにしましょう。
- 10 犯罪や事故に巻き込まれないよう、子どもと話し合いましょう。
- 11 携帯電話やインターネットなどの、利用上のルールをつくりましょう。
- 12 子育てセミナー、講演会などへ積極的に参加して広く知識を身につけましょう。

《プロジェクトP&K》

P (パソコン)・K (携帯電話) によるインターネットの「正しい使い方」の研修

学習習慣の向上

【脳活・スキルアップ学習】

「スピード・リズム・タイミング」を大切にして脳の動きを活性化。「意欲・集中力・自信」の向上、「習得事項」の定着。

◇脳活学習

◇スキルアップ学習

《中学校》

・教科（「数・国・英・社・理」等）の授業時間で実施
（例）世界の地域区分、化学式

《小学校》

・朝や午後の帯時間、教科の授業時間で実施

（例）漢字、百ます計算、音読、辞書引き、
県名・国名・大陸名学習

◇いきいき遊び 《幼稚園・保育園》

・朝の学級活動の前後で実施
（例）フラッシュカードを使った遊び
（「これ何？」など）、
遅出しじゃんけん遊び、記憶遊び

タブレット端末 (iPad) も活用

まちづくり意識の向上

◆ボランティアや地域活動の推進

- ボランティア活動の充実（小・中学生）
- たじみロード・サポーターへの参加（小・中学生）
- 青少年まちづくり市民会議との連携
（例）ボランティアスタッフに参加（小・中）
地域行事へ参加（幼保、小・中）
- 社会福祉協議会との連携

◆多治見市を知る学習の推進

- 社会科・生活科、総合的な学習の時間等への位置付け
- 「わたしたちの多治見市 付 多治見の文化財ジュニア版」（小学校社会科副読本）の活用
- 幼稚園・保育園での園外保育「まち探検」

